

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成 24 年 5 月 17 日 (2012.5.17)

【公開番号】特開 2009-274437 (P2009-274437A)
【公開日】平成 21 年 11 月 26 日 (2009.11.26)
【年通号数】公開・登録公報 2009-047
【出願番号】特願 2009-79858 (P2009-79858)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 27 日 (2012.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のインクを吐出するための第 1 吐出部と前記第 1 のインクとは異なる種類の第 2 のインクを吐出するための第 2 吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録装置であって、

前記記録媒体の画素列を複数列含む領域に前記記録ヘッドの複数回の走査による記録により前記第 1 および第 2 のインクによる画像を形成する際に、前記第 1 のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を 1 回の前記走査で完成させる第 1 記録を行い、前記第 2 のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を複数回の前記走査で完成させる第 2 記録を行うことによって、前記記録媒体に前記第 1 および第 2 のインクによる画像を形成するための手段と、を備え、

前記第 2 のインクの前記第 2 の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第 1 のインクの前記第 2 の記録によるベタ画像における光沢度よりも高いことを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 2】

前記第 1 のインクは 1 色のインクであり、前記第 2 のインクは複数色のインクであることを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 3】

前記第 1 のインクは複数色のインクであり、前記第 2 のインクは 1 色のインクであることを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 4】

前記第 1 のインクは複数色のインクであり、前記第 2 のインクは複数色のインクであることを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 5】

第 1 のインクを吐出するための第 1 吐出部と前記第 1 のインクとは異なる種類の第 2 のインクを吐出するための第 2 吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録装置であって、

前記記録媒体の単一の画素列領域に前記第 1 および第 2 のインクによって形成すべき画像を 1 回の前記走査で完成させる第 1 記録モードと、前記記録媒体の単一の画素列領域に前記第 1 および第 2 のインクによって形成すべき画像を複数回の前記走査で完成させる第

２記録モードとを選択するための選択手段を有し、

前記選択手段は、前記画像を形成するために使用される第１のインクの量が第２のインクの量よりも多い場合には前記第１記録モードを選択し、前記画像を形成するために使用される第２のインクの量が第１のインクの量よりも多い場合には前記第２記録モードを選択し、

前記第２のインクの前記第２の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第１のインクの前記第２の記録によるベタ画像における光沢度よりも高いことを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項６】

前記第１のインクが、前記第２のインクよりも前記画像を形成するのに使用されるインク量が多いか否かの判断は、前記第１のインクのドット数と前記第２のインクのドット数を比較することにより行なうことを特徴とする請求項５に記載のインクジェット記録装置。

【請求項７】

第１のインクを吐出するための第１吐出部と前記第１のインクとは異なる種類の第２のインクを吐出するための第２吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録方法であって、

前記記録媒体の画素列を複数列含む領域に前記記録ヘッドの複数回の走査による記録により前記第１および第２のインクによる画像を形成する際に、前記第１のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を１回の前記走査で完成させる第１記録を行い、前記第２のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を複数回の前記走査で完成させる第２記録を行うことによって、前記記録媒体に前記第１および第２のインクによる画像を形成するための工程と、を備え、

前記第２のインクの前記第２の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第１のインクの前記第２の記録によるベタ画像における光沢度よりも高いことを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項８】

第１のインクを吐出するための第１吐出部と前記第１のインクとは異なる種類の第２のインクを吐出するための第２吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録方法であって、

前記記録媒体の単一の画素列領域に前記第１および第２のインクによって形成すべき画像を１回の前記走査で完成させる第１記録モードと、前記記録媒体の単一の画素列領域に前記第１および第２のインクによって形成すべき画像を複数回の前記走査で完成させる第２記録モードとを選択するための選択工程を有し、

前記選択工程は、前記画像を形成するために使用される第１のインクの量が第２のインクの量よりも多い場合には前記第１記録モードを選択し、前記画像を形成するために使用される第２のインクの量が第１のインクの量よりも多い場合には前記第２記録モードを選択し、

前記第２のインクの前記第２の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第１のインクの前記第２の記録によるベタ画像における光沢度よりも高いことを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項９】

第１のインクを吐出するための第１吐出部と前記第１のインクとは異なる種類の第２のインクを吐出するための第２吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録装置による記録の実行を定めるプログラムであって、

前記記録装置は、前記記録媒体の単一の画素列の画像を１回の前記走査で完成させる第１記録と、前記記録媒体の単一の画素列の画像を複数回の前記走査で完成させる第２記録と、をインクの種類に応じて実行可能であり、

前記第２のインクの前記第２の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第１のイン

クの前記第２の記録によるベタ画像における光沢度よりも高く、

前記記録媒体の画素列を複数列含む領域に前記記録ヘッドの複数回の走査による記録により前記第１および第２のインクによる画像を形成する際に、前記第１の吐出部は前記第１の記録を行い、前記第２の吐出部は前記第２の記録を行うこと定めることを特徴とするプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

上記目的を達成するために本発明は、第１のインクを吐出するための第１吐出部と前記第１のインクとは異なる種類の第２のインクを吐出するための第２吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録装置であって、前記記録媒体の画素列を複数列含む領域に前記記録ヘッドの複数回の走査による記録により前記第１および第２のインクによる画像を形成する際に、前記第１のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を１回の前記走査で完成させる第１記録を行い、前記第２のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を複数回の前記走査で完成させる第２記録を行うことによって、前記記録媒体に前記第１および第２のインクによる画像を形成するための手段と、を備え、前記第２のインクの前記第２の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第１のインクの前記第２の記録によるベタ画像における光沢度よりも高いことを特徴とする。